

治安・安全情報

(リヨン及びローヌアルプ州)

平成25年(2013年)11月
在リヨン出張駐在官事務所

目次

1. 今月の安全・防犯のポイント
2. 在留邦人の被害事例
3. 地区別治安情報収集結果(新聞 Le Progrès 紙より)
4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件(新聞 Le Progrès 紙より)
 - ① 窃盗犯罪事件
 - ② 粗暴犯罪事件
 - ③ 凶悪犯罪事件
 - ④ 知能犯罪事件
 - ⑤ その他の事件
 - ⑥ テロなどに関する一般治安情報
5. 今月の出来事

1. 今月の安全・防犯のポイント

ローヌ県で空き巣の被害が急増

ローヌ県では、空き巣の被害が今年の初めから比べて28%増加している。警察、憲兵隊、県庁などでは、10月1日付の政府決定に従い、今後、特別空き巣対策会議が週に一度行われることとなった。怪しいと思ったらすぐに電話で通報(番号17か、携帯電話からは112)をすることがとりあえず大切であると住民に呼び掛けている。現行犯で逮捕される空き巣犯の約半数が、住民からの通報によるとのこと。近隣宅でも怪しい人々の動きや車の出入りがあつたら速やかに警察に通報するよう、防犯意識を高めたい。また、留守宅だけではなく、家の内に人がいても侵入してくるケースも増えているので在宅時も必ず施錠するように心がけたい。

東欧からの空き巣窃盗マフィア

ローヌ県警では、空き巣件数の増加にともない、11月4日に「東欧国出身者による連続空き巣犯罪対策班」を新しく結成した。リヨンの警察では今年になってから約600件の空き巣事件を解明してきているが、空き巣事件の3割強がグルジア人による犯罪であり、マフィア組織(旧ソ連方面の組織 Vory V Zakone)により次々と送り込まれているらしい。彼らの手口の特徴としては、ドア錠を破壊して鍵のシリンダーを抜き取り、特殊工具を使ってドアを機械的に開けるといふもので、安全だと言われている多点ロック錠の入り口ドアでさえ狙われている。また、このマフィアのメンバーは、コンパスローズ(羅針図)などの刺青を入れているのが特徴。

二輪車の盗難増加

リヨン市では、2012年には合計1442台の二輪車オートバイが盗難にあっている。全国の都市でみると、リヨン市はパリ、マルセイユ、ニースに次いで第4位となっており、2011年と2012年を比べると全国的に増加率の高い街となっている。

2. 邦人の被害事例

11月5日、リヨン市内パールデュエ駅構内で携帯電話の操作に気を取られていた邦人観光客が、肩からかけていたカバンの横ポケットに入っていた財布(パスポート入り)を何者かにスリとられていたことに、後になって気づいた。

11月10日、邦人女性がアヴィニヨン市内の一方通行の道を友人6人と歩いて観光していたところ、後ろからゆっくり進んできた車の中にいた4人のうち、後部座席に座っていた男が、窓から手を出して邦人女性のカバンをひったくり、車はそのままスピードを出して逃げて行った。

3.地区別 治安情報集計結果

2013年11月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	東	西	南	北	AIN県	Isere県	Loire県	合計
凶悪犯 (殺人、強盗、放火、強姦)												1		1		2	4
粗暴犯 (暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合)	4	1	9			2	7	6	2	10		6	2			1	50
窃盗犯(侵入盗、乗り物盗、車上荒らし、ひったくり等)	2	1	3		2	4	8	2	1	6		1	1	1			32
知能犯 (詐欺、横領等)			1			1	1	2	1	4			1		1		12
その他 (賭博、売春、麻薬密売、迷惑行為等軽犯罪)	1	2	3	1	1		1	3		5			1		2	1	21
合計	7	4	16	1	3	7	17	13	4	25	0	8	5	2	3	4	119

※ 数字はプログレ紙に掲載された犯罪記事発出数で、統計的な意味はない。

グランリヨン東→Jonage, Meyzieu, Décine-Charpieu, Chassieu, Saint-Priest, Bron, Villeurbanne, Vaulx-en-Velin, Mions

グランリヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon

グランリヨン南→La Mulatière, Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison, Vénissieux, Solaize, Saint-Fons, Irigny, Feyzin, Corbas, Vernaison, Charly, Grigny, Givors

グランリヨン北→Caluire, Rillieux, Sathonay, Fontaines-sur-Saône, Fontaines-St-Martin, Rochetaillée-sur Saône, Mont-D'Or, Limonest, Lissieu, Neuville, Cailloux-sur-Fontaines, Montanay, Genay

4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件（新聞 Le Progrès 紙より）

① 窃盗犯罪事件

11月2日午後、リヨン市第3区のスポーツ用品店〈Au Vieux Campeur〉から、400 euros 相当の衣服を持ち料金を支払わないまま店から立ち去ろうとした39歳のアルバニア出身の女が逮捕された。

11月2日夜、リヨン市第5区の Pierre Valdo 通りで、スクーターを盗んだばかりの15歳と16歳の少年2人が、ちょうど近辺を通りかかったパトロール中の警察により挙動不審のため尋問され逮捕となった。

11月2日午後11時頃、リヨン市第6区の Collège 橋を渡っていた20歳代の2人組の女性に、見知らぬ男女カップルが近づいてきて、突然女性が持っていた携帯電話を奪い取った。それを取り戻そうとしたもう一人の女性はこの男女から暴行をうけ、この犯人のカップル2人はそのまま逃亡した。

11月2日午後6時頃、Villeurbanne 市内地下鉄 Charpenne 駅で、スリで盗んだ携帯電話を所持していた18歳と21歳のアルバニア国籍の2人組が逮捕された。

11月4日正午、Villeurbanne 市 Alexandre Boutin 通り在住の高齢女性の自宅に、配達人と偽って2人組の男が侵入し、男らは女性を混乱させ、その間に1人の男がアパートの中を物色したとのことで、彼らが立ち去ってから、この82歳の女性は、鍵の束が無くなっていることに気付いたとの事。

11月4日、Villeurbanne 市 Docteur Rollet 通りにある市のスポーツセンター事務所が空き巣の被害にあっていることが判明した。週末に鍵や入り口などを壊さずに何者かが侵入した様子で、パソコンや小切手、現金などが盗まれていたとの事。

10月6日午前3時頃、リヨン市第2区の Vaubecour 通りで、15歳から22歳の3人組の若い男達が21歳の男性を刃物で脅して携帯電話を奪い、その後別の若い女性の携帯電話も盗もうとしていたところを逮捕された。

11月4日、Villeurbanne 市 la Digue 通りで自分の小型四輪駆動車バギーを盗まれた男性が、犯人が立ち去るところを携帯電話で写真に撮っておいたために、それがきっかけとなり同じ Villeurbanne 市内に在住の犯人が逮捕された。この犯人はこのバギー車をナンバープレート無しの状態ですでに600€で売り捌いており、犯人の証言によりバギーを購入したジプシーの住む村で発見された。

11月5日午後、リヨン市第3区 l'Abondance 通り在住の93歳の女性が、2人組の女に自宅内で盗難にあった。捜査によると、スーパーなどで買い物をする高齢者が、カード支払の際に暗証番号を押すところを盗み見しておき、その後自宅まであとをつけ、気分が悪いといって高齢女性の自宅に入り込み、隙を見てカードを盗んだらしい。同じ手口で11月2日から5日の間に5件の窃盗を続けていた、セルビア出身のこの3人組の女たちは、その後警察により逮捕された。

11月5日午後2時半、リヨン市第3区 Mazenod 通りで、38歳の女性から暴力的に携帯電話を奪い取った27歳の男が逮捕された。

11月6日夜、リヨン市第8区でパトロールしていた警察官が、自分達の姿を見てあわてて何かを隠そうとした男の態度が怪しかったために尋問したところ、この男は Berthelot 通りの会社事務所で前日空き巣に入って盗んだノートパソコンの入った鞆を持っていた。

11月7日午後1時頃、リヨン市第7区 Gabriel Péri 広場で、サングラスを不法に販売していた Vénissieux 市在住の16歳の少年が警察に尋問された。この少年が24歳の女性の旅券を所持していたために、続いて家宅調査もおこなわれたところ、10月30日に Pierre Bénite 市で女性宅に空き巣に入って盗み取った物品などが発見された。

11月9日午後1時頃、リヨン市第7区 Châlets 通りに在住の84歳の女性宅で、配達員と偽った2人組の男達が呼び鈴を鳴らして入り口扉を開けさせた。男達は女性に小包受け取りのために手数料をカードで支払うようにカード支払機を見せながら要求した為、老女がカードを取り出すと、この男たちはカードを奪い取り、同時に老女の身分証明書も奪って逃げて行った。

11月9日週末に、リヨン市第7区内にあるボランティア団体 Notre-Dame des Sans Abri の事務所に何者かが侵入し、金庫内にあった貴重品などを盗んでいった。

11月9日午前2時半頃、Villeurbanne 市 Pierre-Bressat 通りで、路上駐車車の車3台を破損して内部にある貴重品などを盗み出していた20歳の男が現行犯で逮捕された。証人も犯人だと認めているが、取り調べでは犯行を否認しているらしい。

11月10日午後11時半頃、リヨン市第3区の Saxe 通りで、16歳の少年から携帯電話を奪い取った18歳の若者3人組が逮捕された。

11月10日夜中、リヨン市第7区の Pierre de Coubertin 通りで、盗難車として手配されていた車に乗っていたルーマニア国籍の男達4人が逮捕された。

11月11日午前6時半ごろ、リヨン市第6区 Maréchal Lyautey 広場にいた若いカップルが、近寄ってきた男に銃で脅され、携帯電話を奪い取られた。

11月11日午前1時頃、リヨン市第3区 Lafayette 通りで17歳から18歳の若者5人が逮捕された。逮捕の30分程前、Augagneur 河岸通りで、他の2人の仲間と一緒に、19歳の若い2人組の男性から暴力的に携帯電話を奪い取ったための逮捕である。

11月11日午後11時頃、リヨン市第7区 Raulin 通りにて窓ガラスを割って侵入した車の中にいた48歳の浮浪者が、それ以外に3台の駐車してあった車から盗み取った品物を持っていたために、車上狙いの現行犯で逮捕された。この男は、その他にも詐欺事件や小切手の盗難など他の犯罪にも関わっている疑いがあるとのこと。

11月12日夜、リヨン市第3区の la Part-Dieu ショッピングセンターで、22歳の若い女性から盗み取ったばかりのクレジットカードと小切手帳を所持していた、21歳から35歳のルーマニア国籍の浮浪者3人が逮捕された。彼らは、すでにクレジットカードを使って300€の現金を引き出していた。

11月12日午後11時頃、St Quentin-Fallavier 市の Bretagne 通りにある輸送会社の駐車場に停めてあった2台の40トンのトラックが盗まれた。翌日、その2台のうち玩具のプレイモビルを搭載していたトラックは Saint-Priest 市内に乗り捨てられているのがみつきり、搭載貨物はすべて

そのまま見つかったが、もう一台の19トンの銅を搭載していたトラックは未だに発見されていない。

11月12日午後10時半頃、リヨン市第8区 Villon 通りの辺りで、トラムの中で女性から携帯電話を奪い取った男が、その直後 Berthelot 大通りにて、公共交通治安部隊に逮捕された。

11月13日午後10時頃、リヨン市第1区の Gaillot 通りでスクーターに乗っていた19歳の若者が逮捕された。この男は、その直前にそのスクーターを la Croix-Rousse 地域から盗んできたところだった。

11月14日午前6時頃、Villefranche sur Saône 市にあるたばこ販売店に煙草を納入するためのトラックが、Mions 市にある倉庫会社を出発してリヨンの環状線高速を走っていると、後ろから来た警察の車が環状線から出るように指示をしてきた。トラックの運転手はなぜ理由もなく高速道路で止められるのか理解できず、そのまま走り続けたところ、警察の車はそのまま後をついてきて、道路の路肩に緊急停車するよう強制した。書類検査のためにトラックから降車するように言われ、2人組の運転手が降りると、制服を着た4人の警官が現れ、1人が書類を検査している間に残りの警官はトラック内に乗り込んだ。ところが、このトラックには防犯アラームシステムが完備されており、警報が鳴り荷台の後部ドアなども閉まったためにパニックに陥り、この偽の警官達は、慌ててトラックの窓ガラスを開けて、積み荷の煙草もトラックもそのまま放置して逃亡した。ローヌ県では今年初めてのトラック強盗未遂事件だが、国内では10月に同様の手口で約40000€相当の煙草が盗まれている。

11月16日午前2時頃、ロワール県の Bouthéon 市にある Crédit Agricole 銀行で、ATM 現金自動預け払い機が爆破された。ロワール県では今年の3月から数えて9件目の銀行 ATM 機の爆破事件で、9月には Sury-le-Comtal 市で、数週間前には Chambon-Feugerolles 市で同じように攻撃されている。今回は金庫が爆破のショックに耐えて、開けられなかったために犯人は何も取れずに逃亡した。

11月16日午前3時半頃、リヨン市第7区 Chevreul 通りで、歩いていた通行人が後ろから若い男に突然首を絞められて、携帯電話を奪い取られ、その後クレジットカードとその暗証番号をも渡すように脅迫された。その場から逃げたこの犯人は、その後すぐに Jean Jaurès 通りで捕まり、盗難品を所持していたために逮捕された。

11月17日午前4時半頃、リヨン市第7区 Marseille 通りで19歳と21歳の2人組の男が窃盗の容疑で逮捕された。この2人は Gabriel Péri 広場で通行人から携帯電話を奪い取り、この日にはそのほかにも同様の犯罪をおこしていたとの事。

11月17日、Givors 市で行われていた交通検問で、Vaulx-en-Velin 市、Vénissieux 市や Villeurbanne 市在住の、警察に良く顔を知られた態度の怪しい男4人組が乗った車が、指示に素直に従わないために取り調べの対象となった。この際、乗っていた車は盗難車で、車の中からは覆面や斧、ハンマーなどが見つかった。後日の調査で、この男たちは、その前夜にスイスのジュネーブにある高級時計 Vacheron Constantin の製造所に不法侵入して時計などを盗み取った疑いがあることが判明したが、現在のところ、被害額約300000€と推定されている盗難時計などの証拠品は、男たちの自宅や車などからは発見されていない。

11月18日午後6時頃、リヨン市第7区のMarseille通りで、トラムの中で乗客の1人のリュックサックの中から貴重品を盗もうとしていた29歳の男が現行犯で逮捕された。この男は多くの窃盗前科を持ち警察に顔を知られた男だった。

11月18日午後3時頃、Villeurbanne市Richelieu通りのアパートに侵入するために入りロドアを壊そうとした21歳の若い男が、その直後逮捕された。

11月19日、リヨン市第6区のColonel Prévost通りのアパートに侵入して空き巣を働こうとしていた32歳のルーマニア人浮浪者が逮捕された。

11月19日午後3時頃、リヨン市第3区のla Part-Dieuショッピングセンターで、スポーツ用品を盗んだ16歳の少年が、現行犯で逮捕された。

11月21日早朝、リヨン市第7区のGambetta通りにある洋装店の入りロドアを破壊して侵入し、現金を持ち出して逃亡した2人組の若者が、監視カメラの録画映像により容疑者が絞り出され、その後すぐにBellecour広場の近くのRépublique通りで発見され逮捕された。

11月22日、その前日にVilleurbanne市内にあるガソリンスタンドを襲った27歳の男が逮捕された。この男は、銃で従業員を脅し、金庫に入っていた約300€の現金などを盗んだ容疑で逮捕され、本人も罪を認めた。この男は70件余りの前科があるとのこと。

11月22日、Villeurbanne市Emile Zola通りで43歳の通行人に対して暴力的に殴り掛かり、通行人の貴重品を盗んだ15歳から16歳の4人の少年が逮捕された。

11月23日、過去数週間にわたってMeyzieu市の工業地帯にある企業の郵便箱から郵便物を盗み出していた容疑のある男が逮捕された。郵便物の中にある小切手を盗む目的だったとのこと。

11月24日午前7時半頃、リヨン市第7区のMontesquieu通りにある会社の事務所の窓を壊して侵入窃盗した男が逮捕された。この男は、6台の携帯パソコンと3台の携帯電話、ハードディスクや空き巣のための道具の入ったスーツケースを所持していたために警察官に尋問され逮捕となった。

11月24日午後7時頃、Villeurbanne市République通りで、18歳の若い女達のグループが警察に逮捕された。この女達はVaulx-en-Velin市在住で、地下鉄Laurent Bonnevey駅において29歳の女性を刃物で脅して携帯電話を奪い取ったところで、グループの中には、この他にも盗難電話を所持している女がいた。

11月25日午後7時45分頃、トラムT2線の中で15歳の少年が若い女性から携帯電話を奪い取った。逃亡する際にこの少年はバランスを崩したため、盗んだばかりの携帯電話と、自分の持っていた携帯電話を落としてそのまま走り去った。警察はこの犯人の少年を捕まえるために、拾った携帯電話を一般人が返却する振りをして電話して呼び寄せたところ、少年が引取りに現れたために、そこで御用となった。

11月25日 Villeurbanne市内で17歳から20歳のグルジア人が3人逮捕された。この3人組はCharpennes地区の数軒の建物の辺りを往来して怪しい行動をしていたため、通りかかった警察が取り調べをした際に、リヨンの警察も初めて目にするような、錠前のシリンダーを破壊して鍵を開ける改造ドライバーなどの空き巣用の道具と、10月末にリヨン市第3区の空き巣で盗まれたレス

トランチケットを所有していたもので、うち2人はこの他にも11月19日に Genas 通りで起こった空き巣事件に関しても関係していた疑いが高い。

11月26日、リヨン市第8区 Laënnec 通りで、韓国人女性から暴力的に携帯電話を奪い取った16歳の浮浪者が逮捕された。

11月26日夜中、リヨン市第1区で若い男性が携帯電話を奪い取られた。取り返そうとした際に、この男性は24歳と29歳の2人組の犯人に殴られたが、結局その後犯人達は Jean Moulin 河岸で逮捕された。

11月30日早朝4時頃、リヨン市第9区 Vaise 地区にあるファーストフード店が商店荒しの被害にあった。警察がかけつけた際に目撃者の証言で、犯人達は白いルノー・クリオに乗って逃亡したとの情報を得、その直後に付近で数人乗車している白いクリオ車をみつけたため、すぐにその車の追跡をはじめた。この車は警察に追われて逃走したがやがて抑えられ、運転手は河に飛び込んで逃げようとさえた。結局のところ、この車に乗っていた数人は、商店荒しとはまったく関係がなかったが、運転手が交通違反の前科を持ち、この夜も無免許で運転していたために、派手な逃亡劇となった。

11月30日午後、リヨン市第3区の Part-Dieu ショッピングセンターで、スリを働いていた43歳位の男が、現行犯で逮捕された。

11月30日午後10時半頃、リヨン市第9区の Saint-Pierre-de-Vaise 通りで、路上駐車してあった車の窓ガラスを割り内部の物を盗み出そうとしていた59歳の男が、現行犯で逮捕された。

11月30日午後10時半頃、Villeurbanne 市 Henri-Roland 通りで20歳の若い女性が、3人の若者に脅されてハンドバックを盗まれた。翌日午後11時頃 Charles Hernu 広場でこの犯人のうちの1人を見かけた女性は警察に通報し、この容疑者の男は逮捕された。

② 粗暴犯罪事件

11月2日午後、Decines-Charpieu 市で、夫婦の激しい口論の仲介に入った友人男性が、怒り狂った49歳の夫からカービン銃で撃たれた。この夫婦の自宅からは、カービン銃の他に、銃器3丁と銃弾が見つかっている。

11月2日午後10時半頃、リヨン市第1区の Louis Pradel 広場で、16歳と17歳の2人の少年が暴行罪で逮捕された。この2人はその直前に、ローヌ河対岸の Maréchal Lyautey 広場で21歳の男性に暴行してオートバイのヘルメットを奪い取り、止めに入った男性の友人の頭をガラス瓶で殴った。

11月3日午前1時頃、リヨン市第3区の Rouget de l'Isle 広場で、酒にひどく酔って TCL リヨン市交通検査官を侮辱した31歳の男が逮捕された。

11月7日、リヨン市第3区 Docteur Long 通りにおいて、運転していたトラックで84歳の女性を轢き、そのまま逃走していたイゼール県 Bourgoin-Jallieu 市在住の男が自宅で逮捕された。事故を目撃した人がトラックのナンバーを控えていたために、警察が調査をした結果、事故から約一時間後に運転手が見つかり逮捕された。女性は重傷を負った。

11月8日午後7時半頃、リヨン市第7区で、20歳の若い女性が帰宅するために自分のアパートの建物ホールにはいったところ、顔を覆い隠して手袋をした女が後ろから侵入して女性を押さえつけ、カバンを渡すように要求した。その時、女性の友人が同じホールに入って来たために女はパニックを起こし、とっさに後ろから入ってきたもう一人の女性を、持っていた刃物で切り付け逃亡した。

11月11日、リヨン市第7区に在住の27歳の男が、Lyon Sud 病院産婦人科に入院中の自分の妻に対して、殺すと脅迫して持参したエアゾール瓶にライターで火をつけようとした。妻が病室の呼び鈴を鳴らして助けを呼ぼうとしたため、男は妻の顔を殴りつけて逃走した。

11月11日、リヨン市第4区で別れた妻と激しい口論となり、8歳の息子の前で妻を足蹴りし、頭突きで殴り、子供を連れ去っていた46歳の浮浪者が、その日の午後 Terreaux 広場で逮捕された。

11月11日午後11時頃、Caluire 市 Alexander Flemming 通りで、43歳の女性が車 Audi A6 を駐車して、トランクの中の荷物を取り出していたところ、2人組の男たちが催涙ガスを女性の顔面に振り掛けた。女性は目が見えなくなり地上に倒れたが、車の鍵をしっかりと握って離さず、大声で叫んだために、犯人達はあきらめて逃走した。

11月12日、Caluire 市在住の31歳と34歳の男が、バス停で見つけた忘れ物のカバンの持ち主に連絡し、返してほしいければ1000€渡すように脅したために、持ち主が警察に通報し逮捕された。

11月12日、Villeurbanne 市内にある銀行で、偽造書類を用いて口座を開けようとした28歳の男が逮捕された。この男は一週間前に口座を開けするために偽造書類をもって手続きをしに銀行を訪れていたが、小切手帳とクレジットカードを受け取りに銀行に再来した際に警察に逮捕された。この男は、10月にも詐欺行為で入手した小切手やクレジットカードを使用して約18000€の商品を購入したり、解雇された自分の元雇用者の会社に窃盗団を送り込んだりした罪で逮捕されていた。

11月13日午後7時頃、リヨン市第7区にあるサンドイッチ店に入った男が、銃で従業員を脅してレジの現金を出させ、そのまま奪って逃亡した。

11月15日午前3時頃、リヨン市第1区の la Platière 通りで、男性2人組が、同性愛者だからという理由で若い男2人から暴行を受け、瓶などで殴られて大怪我を負った。犯人の1人は逮捕されたが、もう1人は逃亡した。

11月16日、リヨン市第1区在住の女性を過去2カ月にわたって脅迫していた元交際相手の32歳の男が逮捕された。この男は殺すと脅迫、嫌がらせ電話、車両破損、住居不法侵入などを繰り返していたが、この日女性の自宅に来ると男から通知を受けた女性があらかじめ警察を呼んでいたため、刃物を持って現れたこの男がその場で逮捕された。

11月16日午後7時頃、Villeurbanne 市の地下鉄 Laurent Bonnevey 駅付近で、理由は不明だが、15人ほどの係る喧嘩事件があり、棒や瓶を持って殴り合いとなり、4人の負傷者が出た。

11月16日、リヨン市第3区で自分の子供に暴力をふるった母親が身柄拘束された。この母親は14歳の娘を手やベルトで殴り、全治5日間の怪我を負わせた。

11月19日夜、サッカーの試合(アルジェリア対ブルキナファソ)があり、アルジェリア勝利の後には Vaulx-en Velin 市 Mas-du-Taureau 広場に勝利を喜ぶ100人以上の人が集まり、暴行騒ぎに発展した。叫び声、クラクションなどの騒音、バスの運行妨害、警察に対しての投石騒ぎなどがあり、同時に、近くにあるスーパーLeader Price の店内に、金庫や商品を盗みだすために数十人が侵入した。警察がやめさせようとしたところ店内にいた侵入者から物を投げられたが、金庫は盗まれずにすんだ。結局、レジの現金3600€と商品(被害額は調査中)が侵入者によって盗まれた。

11月23日午前4時頃、リヨン市第8区 Villon 通りで、十数人の若者達が2人の兄弟と言い争いをはじめ、やがて激しい暴力的抗争となり、兄弟の1人は、金槌や鉄の棒などでなぐられ、頭蓋骨骨折などの重傷を負った。言い争いの原因は明らかになっていない。

11月24日、リヨン市第8区の警察署で、妻が夫の暴力行為の被害届を提訴したために、身柄拘束となって怒った夫が警察官に向かって侮辱的な言葉を発して反抗し、警察官の首を掴んで襲い掛かった。この男の怒りを抑えるのには、4人の警察官の力を必要とした。

11月25日午後10時頃、リヨン市第3区 Paul Bert 通りのピザ屋に顔を覆った男が侵入し、銃で脅して店内のレジにある現金約100€を出させ、その金を奪って逃亡した。数日後ピザ屋の店員の証言により逮捕された犯人は、第8区在住の17歳の少年で、自宅からは犯罪に使用した空気銃と奪った現金が見つかった。

11月26日午後10時半頃、リヨン市第8区で、リヨン市 TCLバス35番(Vénissieux – Bellecour 間)の運転手が何者かに殴られたり引っかかれたりした。消防隊が呼ばれて、運転手はそのまま救急病院へ搬送されたが、犯人は逃亡し、また暴力の理由なども現在のところ判明していない。

11月27日夜、リヨン市第6区 Molière 通りに在住の2人の学生宅アパートに、顔を隠して手袋をした強盗が押し入り、刃物で学生達を脅してクレジットカードやコンピューター、現金などを奪い取って逃亡した。

11月30日午前6時頃、Vénissieux 市の Minguettes 地区で暴行されて意識不明になっている20代の若い男性が Jean-Cagne 通り沿いにて発見された。この男性は洋服も半分近く剥がされ、顔と後頭部に傷を受けていた。街の監視カメラの録画映像によると、この男性は地下鉄の Gare de Vénissieux 駅で最初に暴行をうけた様子らしい。

③ 凶悪犯罪事件

11月3日午前1時から4時頃までの間に、アン県の Ambérieu-en-Bugey 市、Saint-Denis-en-Bugey 市、Ambutrix 市、Leyment 市や Lagnieu 市周辺で、合計約10台の自動車が放火されて炎上した。これらの車はいずれも人通りの少ない道路に駐車してあったとのことで、詳細は現在警察が調査中。

11月4日、Roanne 市のごみ捨てコンテナのなかから、40歳代の男性の死体が発見された。死体には刃物でつけられた多数の傷があり、頸部の傷が死に至った理由の様様。警察はこの殺人事件が起こったアパートを発見し、その賃貸者が容疑者として指名手配されている。

1 1月8日真夜中、Villeurbanne 市 Genas 通りにあるファーストフード店 Quick に、2人組の男が拳銃と催涙ガスを持って侵入し、武器で脅迫してレジの現金などを出させ、その後オートバイに乗って逃走した。

1 1月12日、イゼール県のグルノーブル市で、29歳の妊娠6か月の女性が、腹部を9回にわたって刺されて死亡した。警察に通報した女性の夫である30歳の男は、犯人は自分だと自供している。

1 1月13日午前6時頃、リヨン市第9区の Sergent Michel Berthet 通りにある煙草プレス店に2人組の若い男達が強盗に入り、1人は散弾銃、もう1人はタイザー銃をもって店の主人を脅迫して金庫にあった2000€を出させた。その後店の主人に床に伏せさせ、首にタイザー銃で電気を流して逃亡した。

1 1月13日午後9時頃、Villeurbanne 市にあるバーの主人が店から出てきたところ、何者かに襲撃され、持っていたその日の収入金を出すように脅されたため渡したところ、犯人はすぐに逃亡した。

1 1月27日午前9時半ごろ、Rilleux-La-Pape 市の Crédit Agricole 銀行に到着した Prosegur 社の現金輸送車が数人の強盗に襲われた。輸送員が車から降りたところ催涙ガスを振り掛けて襲い掛かり、数千ユーロの入ったケース(防錠破システム装備)を奪った。この犯人達はヘルメットを被って顔を隠しており、スクーターに乗って逃走した。この街では5月にも同じような現金輸送車襲撃事件が起こっているとのこと。

1 1月28日午後10時頃、Villeurbanne 市 Roger Salengro 通りで営業していた移動式ピザ店舗の経営者の男性が、仕事を終え収入金を持って自家用車に近づいたところ、何者かが現れて暴行し、持っている現金を渡すように脅した。この男性が要求を拒絶したところ激しい口論となり、犯人は持っていた銃を出して2回発砲した。男性は太ももに銃弾を受けたため、自力で救急病院へ向かった。

④ 知能犯罪事件

1 1月1日、Caluire 市 Général Leclerc 通りで、タクシー料金の支払いを誤魔化した29歳の男が警察に逮捕された。この男は、盗難品の携帯電話などを所持しており、タクシーの運転手を騙して立ち去ろうとしていたところ、詐欺行為で逮捕された。

1 1月4日午後、リヨン市第7区 Gambetta 通りにある携帯電話ショップ数軒が警察の抜き打ち捜査の対象となった。9軒の携帯電話ショップ店のうち、合法的な経営をしていたのは1軒のみで、残りの店舗は、登録のない従業員を雇って隠していたり、中古品電話の登記がされていなかったり、盗難電話を再使用できるように解除するシステムを所有していたために、関係者合計7人が逮捕された。その後の取り調べで、中古品としてこれらの店が所有していた携帯電話の中には、スリや空き巣などで盗まれた盗難電話があることが判明した。この地域(Gabriel Péri 広場)にあるこの手の携帯電話ショップは、開店してから1年から1年半のサイクルで店を閉めて脱税捜査を免れている犯罪網のひとつである。警察ではこのような捜査作戦を行って、密売網を消滅させることで、携帯電話のひったくりや窃盗をせき止めようとしている。ローヌ県では、毎月平均約250件の携帯電話ひったくり暴行事件が発生しているとのこと。

11月初旬、リヨン市第6区 Brotteaux 通り在住の21歳の若い男が逮捕された。この男は、インターネット上の中古品売買サイトで、売ビデオゲーム機の記事を掲載していた若者達に購入意思のあるコンタクトを取り、待ち合わせをしてから自分の住むアパートの建物の7階のドア前で販売者を待たせ、うまく作動するかどうか自宅内で試すと言いながらドアの中に入っていた。しかし実はそのドアは階段ホールにつながっており、そのまま2階の自宅に逃げて姿を消し、同じ手口でゲーム機を何台も盗み取っていた。この被害者達の証言によると、この男は軍隊の制服を着ているとの事だった。偶然今年の9月に夜中に、街中で酔っ払っていた男性を警察が保護し自宅に連れて行ったところ、この男性の自宅の中の壁中に、軍隊の写真が張り詰めてあり、これを見ていた警官が、今回この詐欺師の服装のことで関連付けて思い出し、この男を連行。詐欺の被害者の少年達に顔合わせさせたところ、すぐに犯人だという証言があり、本人も罪を認めた。騙し取っていたゲーム機は売り捌いていたとの事。

11月初旬、リヨン市内に在住の17歳の少年が、隠匿罪の疑いで逮捕された。昨年10月から、インターネット上中古品売買サイト« Le bon coin »上で携帯電話を購入した若者から、購入した電話が実は盗難品で使用できないという詐欺被害の届け出が警察に何件もあったため、取り調べで、支払の小切手を現金化していた手口からこの少年の身元が割れた。両親と同居するこの少年宅からは、盗難電話やSIMカード、現金7500€が発見されている。この少年の仲間たちが盗み、この少年がネット上で売り捌いていた。

11月13日、老人ホーム在住の90歳の女性の部屋から2012年5月に盗まれた盗難小切手を使用して、自分の銀行口座に約2181€入金していた Villeurbanne 市在住の33歳の男が逮捕された。

11月19日、リヨン市第3区 l'Epée 通りにある、電話の卸売商店2軒に税関の検査が入った。税関員たちは、偽のブランド品や電話などを調べており、その際に、これらの店が盗難電話やそれらを再使用できるように初期設定するシステムを保有していることが判明したために警察も介入した。

11月30日、リヨンサッカーチームOLのメンバーの一人の身分証明書と小切手を8月に盗みだした25歳の男（Champagne-au-Mont-d'Or 市住民）が、11月にこの身分証明書を使って銀行に口座を新しく開設しようとしたため、盗難隠匿及び詐欺罪で逮捕された。

⑤ その他

11月2日午後11時半頃、リヨン市第9区の安全監視優先地域に指定されている la Duchère 地区において、警察介入を要求する通報があったために駆けつけた警察が la Sauvegarde 通りに到着したところ、様々な発射物の標的となって狙われた。また、近辺の la Duchère 通りでは、車が一台炎上した。

11月2日、リヨン市第7区の Gerland スタジアムでサッカーの試合中に15歳の少年2人の間で喧嘩がはじまり、スタジアム内の監視カメラでその争いを見つけた職員が2人を警察に引き渡した。

11月8日午前中、イゼール県 Bourgoin-Jallieu 市付近の高速道路で、無免許、無保険、覚せい剤使用中で運転していたリヨン市内在住の19歳の若い男が逮捕された。この男は、その朝 St Genis Laval 市内の駐車場で4駆動車にぶつかったがそのまま逃走していたために捜索されていた。

11月9日、Villeurbanne 市 Burais 通りにあるガレージの中から大麻の匂いがすると通報を受けていた警察が、そのガレージを張り込んでいたところ、26歳の若い男が現れたために取り調べを受けた。ガレージの中からは大麻の葉が5キロ発見された。

11月11日朝6時頃、リヨン市第5区の吊り橋上でコカインの密売買をしていた2人の男が逮捕された。リヨン在住の31歳の密売人は、その場で持っていた商品を飲み込んだが、現金1000€を所持しておりその出所を説明できなかった。

11月12日、Bron市在住の38歳の男が、Bron市営プールのトイレや更衣室で若い女性の着替えている姿を映像におさめ、ネット上に掲載していた罪で逮捕された。

11月13日、リヨン市第8区 Villon 通りで、アン県在住の49歳の男が、レンタカーを運転して無許可でタクシー営業していたため逮捕された。

11月18日、リヨン市第8区の des Etats-Unis 地域でヘロインの密売をしていた21歳のアルバニア人とコソボ出身の男達が逮捕された。警察の麻薬対策班の調査により証言がもたらされ、日常的にヘロインを100グラムから200グラム売り捌き1500€の収入を得ていたとのこと。

11月24日早朝3時頃、リヨン市第2区内の交通検問で、車内から20€と10€の偽札(コピー)が発見された。この車に乗っていた3人組の男は、Vaulx-en-Velin市に大麻の葉を購入するために持っていたと自白している。

11月26日、イゼール県の店舗の元責任者が収賄罪で逮捕された。この58歳の男は、過去3年間に渡って Rhonalpal 社に荷台のパレットを転売することによって約13000€の賄賂を受け取っていたとのこと。

⑥ テロなどに関する一般治安情報 特になし

5. 今月の出来事

移民者対策

ヴァルス内務相は、リヨン市内ペラッシュ駅近くの Kitchener 橋の下に数週間前からテントなどを張り避難居住しているアルバニア移民の移動対策で、ローヌ県知事に対してリヨン市郊外に特別居住地域を指定して移住させるよう要求した。まずは、子供のいる家族が Oullins 市の移動式村に約150名が移住させられ、子供たちは学校にも登録され、残りの亡命移民者も他の地域の施設に移住させられた。

Rillieux La Pape 市の廃棄物焼却場で火災事故

ローヌ県北部の Rillieux-la-Pape 市にある廃棄物焼却場で11月12日の午後に火災が発生した。内部で作業をしていた26人の社員はすべて避難し、怪我人などは出なかったが、焼却場の煙処理施設の大半がこの火災で破壊され、廃棄物焼却処理がすぐに再開できるようになるかは現在不明。リヨン都市圏では、この地方にある他の廃棄物焼却場と協力していく予定なので、今後のごみ収集廃棄処理には問題は発生しないと発表している。この Rillieux-la-Pape 市の廃棄物処理場では、2012年の6月にも許容量を超えたダイオキシンを排出した問題がその年9月まで公表されなかった問題などもあり、周辺住民や消費者団体に不安を与えている。

第9区の L'île Barbe 橋 2014年3月まで閉鎖

リヨン市第9区の St Rambert 地区と Caluire 市をつなぐ L'île Barbe 橋が、2014年の2月（あるいは3月）までの間、工事のために車の通行が閉鎖される。11月5日に橋の下を通った船のクレーンがぶつかり、橋の支柱などが破損したために修復工事をするようになった。その間、歩行者や自転車、L'île Barbe 島に在住する住民は通行できるが、それ以外の通行は修復工事が終了するまでの間閉鎖される。

リヨン第2大学でデモ騒動

11月21日、リヨン市第7区のリヨン第二大学で、80人から100人の学生達がデモ騒動を起こした。この動きは、大学側が経済的理由から内部の経営問題をかかえており、この日に行われる会議には大学代表者や議員が集まるために、学生組合 FSE が会議開始一時間前にデモ集合を呼び掛けて、大学側の強硬政策と改革案に激しく抗議した。大勢の学生が階段教室に押し入ったために、ドアが破壊されマイクなど損失、大学の警備員も4人が負傷した。大学長が警察に通報したために、約一時間後には保安機動隊がかけつけて妨害する学生たちを構外に追い出された。この時には学生たちも数人が暴力を受けたと話している。警察の話によると、6人の学生が逮捕された。